

調達物品に備えるべき技術的要件

全体	以下仕様における既存メーカーと同一で既存機器が移設使用可能な場合は本構成から除外すること。
1	内視鏡ビデオシステムを4式備えること。また、以下の要件を満たすこと。
1-1	画像強調機能で血管や表面構造などの観察に適した特殊光観察モードを有していること。
1-2	画像強調機能で色の拡張・縮小を行い粘膜の微妙な色の違いを強調する特殊光観察モードを有していること。
1-3	画像強調機能で出血点の視認性を改善する特殊光観察モードを有していること。
1-4	構造強調、色彩強調による画像強調観察が可能であること。
1-5	映像出力端子に12G-SDI OUT端子を有すること。
2	上部消化管 経鼻スコープを1本備えること。また、以下の要件を満たすこと。
2-1	視野角が140°以上であり、直視タイプであること。
2-2	観察深度はスコープ先端より2mm～100mm以内であること。
2-3	鉗子口最小径は2.2mm～2.4mm以内であること。
2-4	湾曲角度は上側210°以上、下側90°以上、左右側各100°以上であること。
2-5	先端部径は5.8mm以下であること。
2-6	前記1プロセッサまたはビデオシステムセンターと組み合わせて使用可能であること。
3	上部消化管 汎用スコープを3本備えること。また、以下の要件を満たすこと。
3-1	視野角が140°以上であり、直視タイプであること。
3-2	観察深度はスコープ先端より2mm～100mm以内であること。
3-3	鉗子口最小径は2.8mm以上であること。
3-4	湾曲角度は上側210°以上、下側120°以上、左右側各100°以上であること。
3-5	先端部径は9.9mm以下であること。
3-6	前記1プロセッサまたはビデオシステムセンターと組み合わせて使用可能であること。
4	上部消化管 処置スコープを2本備えること。また、以下の要件を満たすこと。
4-1	視野角が140°以上であり、直視タイプであること。
4-2	観察深度はスコープ先端より2mm～100mm以内であること。
4-3	鉗子口最小径は3.2mm以上であること。
4-4	湾曲角度は上側210°以上、下側120°以上、左右側各100°以上であること。
4-5	先端部径は9.9mm以下であること。
4-6	前記1プロセッサまたはビデオシステムセンターと組み合わせて使用可能であること。
5	上部消化管 拡大スコープを2本備えること。また、以下の要件を満たすこと。
5-1	視野角が140°以上であり、光学拡大機能を有すること。
5-2	観察深度はスコープ先端より標準時5mm～100mm以内であり、最近接時1.5mm～3.0mm以内であること。
5-3	鉗子口最小径は2.8mm以上であること。
5-4	湾曲角度は上側210°以上、下側160°以上、左右側各100°以上であること。
5-5	先端部径は9.9mm以下であること。
5-6	前記1プロセッサまたはビデオシステムセンターと組み合わせて使用可能であること。
6	下部消化管 拡大スコープを4本備えること。また、以下の要件を満たすこと。
6-1	視野角が170°以上であり、光学拡大機能を有すること。
6-2	観察深度はスコープ先端より標準時5mm～100mm以内であり、最近接時1.0mm～2.5mm以内であること。
6-3	鉗子口最小径は3.2mm以上であること。
6-4	湾曲角度は上側180°以上、下側180°以上、左右側各160°以上であること。
6-5	先端部径は11.7mm以下であること。
6-6	前記1プロセッサまたはビデオシステムセンターと組み合わせて使用可能であること。
7	内視鏡画像診断支援システムを2式備えること。また、以下の要件を満たすこと。
7-1	診断支援情報表示が可能であること。
7-2	リアルタイムに病変検出、鑑別をサポートを有していること。
8	内視鏡用カートを5台備えること。また、以下の要件を満たすこと。

調達物品に備えるべき技術的要件

8-1	絶縁トランスを内蔵していること。
8-2	水平・上下・傾斜角度の調整が可能なモニターアームを有すること。
8-3	CO ₂ ガスポンペを積載可能なこと。
9	部門システム連携について以下の要件を満たすこと。
9-1	既存の部門システムに接続可能であること。
10	内視鏡用送水装置を2台備えること。また、以下の要件を満たすこと。
10-1	鉗子チャンネル、副送水チャンネルのどちらからも送水可能であること。
11	内視鏡用炭酸ガス送気装置を2台備えること。また、以下の要件を満たすこと。
11-1	ガス供給はガスポンペに加え、壁配管にも対応していること。
12	高周波焼灼電源装置を1式備えること。また、以下の要件を満たすこと。
12-1	切開と凝固フェーズを繰り返す切開モードを有していること。
12-2	術式により異なった設定ができるよう複数のプログラム機能を有していること。
12-3	モノポーラ出力において、低電圧凝固モードを有していること。
12-4	アルゴンプラズマ凝固装置を有していること。
13	内視鏡保管庫を2台備えること。また、以下の要件を満たすこと。
13-1	ステンレス(SUS304)製であること。
13-2	ガラス部飛散防止対策が施されていること。
13-3	消化器内視鏡を15本掛けられること。
13-4	ステンレス(SUS304)製であること。
13-5	W1600mm x D450mm x H1915mmであること。
14	電気水圧衝撃波装置を1台備えること。また、以下の要件を満たすこと。
14-1	プローブの動作を自動的に監視し交換時期がわかること。
14-2	出力設定が高・中・低で3段階あること。
15	胆道鏡を1式備えること。また、以下の要件を満たすこと。
15-1	鉗子チャンネル1.2mm以上であること。
15-2	前記14電気水圧衝撃波プローブと組み合わせて使用可能であること。
15-3	観察深度1.5mm～50mm以内であること。
15-4	有効長1920mm以上を有していること。
16	超音波観測装置を1式備えること。また、以下の要件を満たすこと。
16-1	メカニカル走査式と電子走査式の超音波観測装置であること。
16-2	プローブ駆動ユニットとの組み合わせによりメカニカル走査式のプローブと接続が可能であること。
16-3	従来機種と比べてBモード画像が分解能、深達度ともに向上していること。
16-4	カラー画像により組織（肝臓 膵臓）の弾性情報を表示、組織の相対的な硬さを可視化できること。
16-5	前記1プロセッサまたはビデオシステムセンターと組み合わせて使用可能であること。
17	内視鏡用洗浄消毒機を5台備えること。また、以下の要件を満たすこと。
17-1	スコープの消毒に用いる消毒薬は高水準消毒薬である過酢酸であること。
17-2	2本同時洗浄消毒が可能であること。
17-3	洗浄履歴管理が接続可能であること。
18	LCDモニターを5台備えること。また、以下の要件を満たすこと。
18-1	解像度は3840×2160ピクセル以上であること。
18-2	映像入力端子にDVI-D、12G-SDI、3G-SDIを有していること。
18-3	画像サイズは31.5インチ以上であること。